

10代の投票率を

上げるためには

◇2016年から選挙権年齢が18歳に引き下げられた。

その理由は、若者の声を政治に反映させるためである。私は、選挙権年齢が18歳に引き下げられたことには、賛成である。なぜならば高齢化が進む日本を支えるのは若者である私たちだからだ。ただ2016年の参院選の投票率は、10代で45%で、全体の投票率54%よりも低い結果であつ

た。

◇どうすれば若者の投票率を上げられるのだろうか。それを見つめるには「若者がなぜ投票しないのか」を考えることが必要だ。投票に行かない理由の一つとして「選挙にあまり関心がない」ことが挙げられる。それまでの生活に政治がどのように関わっているのかを実感したことの無い若者が、何をもとに判断して、投票したらいいのか分からないのは、当然である。

◇そこで私は、インターネ

ットを使って誰でも手軽に場所を選ばずに立候補者について確認することができれば良いのではないかと考えた。各

立候補者の政策や人物像を理解しやすくなるし、立候補者に対して質問ができれば、その立候補者を身近に感じ、投票しようという気持ちが強くなる。また、インターネットによる投票が可能になれば投票所に向く煩わしさが省けるため、投票率の向上が見込まれる。10代、20代の若者が動きだし、大きな力となれば、世の中を変える新しい動きへとつながっていくと思う。

(山梨英和中3年・桜井結花)